

婦人科腫瘍

卵巣癌・子宮体癌・再発子宮頸癌
CBDCA+3週毎PTX療法

投与方法	薬剤	投与時間	Day 1
DIV	生理食塩液注 500 ml パクリタキセル注 180 mg/m ²	3時間 流速を算出すること	↓
DIV	生理食塩液注 250 ml カルボプラチン点滴静注液 AUC=5-6	60分 流速を算出すること	↓

※ カルボプラチン投与量はコッククロフト式でGFRを計算してカルバート式使用、
投与量の上限はAUC5で800mg/body/コース、AUC6で930mg/body/コース
※パクリタキセル注にはフィルター必要

インターバル日数 21日

卵巣癌・子宮体癌・再発子宮頸癌 CBDCA+DTX療法

投与方法	薬剤	投与時間	Day 1
DIV	生理食塩液注 250 ml ドセタキセル注 70 mg/m ²	60分 250ml/時	↓
DIV	生理食塩液注 250 ml カルボプラチン点滴静注液 AUC=5-6	60分 流速を算出すること	↓

※ カルボプラチン投与量はコッククロフト式でGFRを計算してカルバート式使用、
投与量の上限はAUC5で800mg/body/コース、AUC6で930mg/body/コース

インターバル日数 21日

卵巣癌・子宮体癌 ドセタキセル療法

投与方法	薬剤	投与時間	Day 1
DIV	生理食塩液注 250 ml ドセタキセル注 70 mg/m ² (減量可)	60分 250 ml/時	↓

インターバル日数 21日

再発卵巣癌

ドキソルビシン封入リポソーム

投与方法	薬剤	投与時間	Day 1
DIV	5%ブドウ糖注 250 ml ドキシル注 50 mg/m ²	90分 166 ml/時	↓

※ドキシル投与量が90mg以上(体表面積1.8m²以上)のときには
5%ブドウ糖液500mlに溶解すること

インターバル日数 28日

卵巣癌・子宮頸癌・子宮体癌 カルボプラチン単剤療法

投与方法	薬剤	投与時間	Day 1
DIV	生理食塩液注 250 ml カルボプラチン点滴静注液 AUC 6	60分 流速を算出すること	↓

※ カルボプラチン投与量はコッククロフト式でGFRを計算してカルバート式使用、
投与量の上限は930mg/body/コース

インターバル日数 21日

卵巣癌:カルボプラチン+ ドキシソルビシン封入リポソーム(CD)療法

投与方法	薬剤	投与時間	Day 1
DIV	5%ブドウ糖注 250 ml ドキシル注 30 mg/m ²	90分 166 ml/時	↓
DIV	生理食塩液注 250 ml カルボプラチン点滴静注液 AUC 5	60分 250 ml/時	↓

※ドキシル投与量が90mg以上のときには5%ブドウ糖液は500mlに溶解すること

※カルボプラチン投与量はコッククロフト式でGFRを計算してカルバート式使用、
投与量の上限は800mg/body/コース

インターバル日数 28日

子宮肉腫

塩酸ゲムシタビン/ドセタキセル療法

投与方法	薬剤	投与時間	Day 1	Day 8
DIV	生理食塩液注 250 ml ゲムシタビン点滴静注用900 mg/m ²	30分 500 ml/時	↓	↓
DIV	生理食塩液注 250 ml ドセタキセル 70 mg/m ²	1時間 250 ml/時		↓

インターバル日数 21日

カルボプラチン+パクリタキセル+ベバシズマブ療法

投与方法	薬剤	投与時間	Day 1
DIV	生理食塩液注 500 ml パクリタキセル注 180 mg/m ²	3時間 流速を算出すること	↓
DIV	生理食塩液注 250 ml カルボプラチン点滴静注液 AUC=5-6	60分 流速を算出すること	↓
DIV	アバスチン注 15mg/kg 生理食塩液注 100ml(全部で100ml)	3回目以降: 200ml/時;30分	↓

※ カルボプラチン投与量はコッククロフト式でGFRを計算してカルバート式使用、
投与量の上限はAUC5で800mg/body/コース、AUC6で930mg/body/コース

※パクリタキセル注にはフィルター必要

インターバル日数 21日

再発卵巣癌

ドキソルビシン封入リポソーム＋ベバシズマブ療法

投与方法	薬剤	投与時間	Day 1
DIV	5%ブドウ糖注 250 ml ドキシル注 40 mg/m ²	90分 166 ml/時	↓
DIV	アバスチン注 15mg/kg 生理食塩液注 100ml (全部で100ml)	初回:67ml/時;90分 2回目:100ml/時;60分 3回目以降:200ml/時;30分	↓

※ドキシル投与量が90mg以上(体表面積1.8m²以上)のときには
5%ブドウ糖液500mlに溶解すること

インターバル日数 28日

婦人科腫瘍 37

進行・再発子宮頸癌(CDDP不適症例のみ)(Bev3回目以降)
カルボプラチン+パクリタキセル+ベバシズマブ(TC+Bev)療法

投与方法	薬剤	投与時間	Day 1
DIV	生理食塩液注 500 ml パクリタキセル注 180 mg/m ²	3時間 流速を算出すること	↓
DIV	生理食塩液注 250 ml カルボプラチン点滴静注液 AUC=5-6	60分 流速を算出すること	↓
DIV	アバスチン注 15mg/kg 生理食塩液注 100ml(全部で100ml)	3回目以降: 200ml/時;30分	↓

※ カルボプラチン投与量はコッククロフト式でGFRを計算してカルバート式使用、
投与量の上限はAUC5で800mg/body/コース、AUC6で930mg/body/コース

※パクリタキセル注にはフィルター必要

インターバル日数 21日